



日本聖公会東北教区

主教按手式・教区主教就任式

主教被選者 フランシス 長谷川清純

救主降生 2023 年 4 月 22 日
日本聖公会東北教区主教座聖堂

本日の「主教授手・教区主教就任式」はライブ配信されます。個人名、また会場からの中継において、ご来場のみなさまの様子が配信される可能性があることを、予めご承知おきくださいますようお願いいたします。

聖職せいしよくあんしゅしき按手式

聖書によれば、キリストの救いのみ業は、使徒たちの時代から教会の中で、多様な職務に表され、これに召された人びとが、その職務をもって神と人びとに仕えていた。そして、主教、司祭、執事と呼ばれる三重の聖職位がその聖なる公会を特徴づけるものとして、ごく初期から重んじられていたことは明らかである。主教の職位はこの三重の職務を全体として受け継ぎ、主の群れを司牧、監督し、すべての人を主にある一致と平和に導くことによって使徒職を行使する。司祭は、神のみ言葉を宣べ、聖奠を行い、宣教と牧会の働きを遂行することによって、常に主教とともにあり、その働きに参加する。執事は、教会のすべての働きにおいて、ことにキリストのみ名によって、貧しい人、病気の人、苦しむ人、助けを必要とする人びとに仕えることによって、主教と司祭を助ける。キリストの模範と聖霊の力により、主の救いのみ業を世のすべての人びとに伝え行うことは、キリストの体である公会の全体の務めであり、主教、司祭、執事は全信徒とともにこの務めを果たすための奉仕職である。

日本聖公会も長くこの職位を尊び受け継いできた。従って、先ず召され、試みられ、教会によってこの職位につくのに適当な者と認められた者のみが、聖霊を求める祈りと主教の按手によって、この職位に任ぜられるのである。いかなる人も、この式によって任ぜられるか、あるいはほかの聖公会の主教によって正当に立てられた者でなければ、日本聖公会の主教、司祭、執事としての職務を行うことはできない。

しゅ きょう あん しゅ
主 教 按 手
エピスコポス

広く教会の祈祷と立証を求めるため、首座主教があらかじめ公告した日
に、首座主教またはその指名を受けた主教が司式して行う。

さん にゅう
参 入

一同立つ。

ここで聖歌を用いてもよい。また参入唱または聖語（祈祷書 46 ページ以下）を教会暦に応じてあるいは自由に用いてもよい。

せい か だい ばん
聖 歌 第 339 番 （式文 24・25 頁）

しゅ
司式主教 主イエス・キリストよ、おいでください
で し なか た ふっかつ すがた あらわ
会衆 弟子たちの中に立ち、復活のみ姿を現されたように、わ
たしたちのうちにもお臨みください
のぞ

ここで司式主教は、次の祈りを唱える。

ぜんのう かみ ところ しゅ あらわ のぞ しゅ し
全能の神よ、すべての心は主に現れ、すべての望みは主に知られ、
ひ みつ まえ かく
どのような秘密もみ前に隠れることはありません。どうか聖霊によっ
てわたしたちの心 きよ ころ しゅ あい な えいこう あらわ
を清め、まことに主を愛してみ名の栄光を現すこ
とができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。
しゅ ねが

アーメン

うた ぜんのう ちち かみ
司式主教 ほめ歌え、全能の父なる神を
うた こ しゅ
会衆 ほめ歌え、み子、主イエス・キリストを
うた
司式主教 ほめ歌え、わたしたちのうちに宿られる聖霊を
いま よ よ かぎ
会衆 今も、世々に限りなく アーメン

一同次の歌をうたいまたは唱える。

だい えい こう うた
大栄光の歌

いと高きところには神に栄光、地にはみ心にかなう人びとに平和がありますように。

全能の父、天の王、主なる神よ、主を拝み、主に感謝し、主の栄光をほめたたえます。

父の独り子、主イエス・キリスト、世の罪を除く神の小羊、主なる神よ、わたしたちに憐れみをお与えください。父の右に座しておられる主よ、わたしたちの祈りを受け入れてください。

イエス・キリストよ、主のみ聖、主のみ王、主のみ聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに、最も高くおられます アーメン

とく どう
特 祷

司式主教 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

司式主教 祈りましょう

ここで司式主教は、次の特祷を唱える。祝日には続いて当日の特祷を用

いる。

父なる神、全世界の主よ、み子によってわたしたちを全公会の交わりの中にお召し下さったことを感謝いたします。どうか主の民のために献げる祈りに耳を傾け、わたしたち一人ひとりが、召された奉仕の業を通して、主の愛の器となることができますように。今、主教に任ぜられる僕に、その務めに必要な恵みの賜物をお与えください。救い主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

み こと ば 言 葉

司式主教 せいしよ こと ば き 聖書のみ言葉を聞きましょう

会衆は着席する。

きゆうやく せいしよ 旧約聖書

朗読者は次の旧約聖書を朗読する。

イザヤ 61:1-3 またはイザヤ 42:1-9

朗読者 きゆうやく せいしよ しよ だい しやう せつ 旧約聖書はイザヤ書 第 61 章 1 節から

1 しゅ かみ れい わたし のぞ 主なる神の霊が私に臨んだ。

しゅ わたし あぶら そそ 主が私に油を注いだからである。

くる ひと よ し つた 苦しむ人に良い知らせを伝えるため

しゅ わたし つか 主が私を遣わされた。

こころ う くだ ひと つつ 心の打ち砕かれた人を包み

と ひと じ ゆう 捕らわれ人に自由を

ひと かいほう つ つながれている人に解放を告げるために。

2 しゅ めぐ とし 主の恵みの年と

わたし かみ ほう ふく ひ つ 私たちの神の報復の日とを告げ

なげ ひと なぐさ すべての嘆く人を慰めるために。

3 しゅ なげ ひと シオンの嘆く人に

はい か あたま かざ 灰の代わりに頭飾りを

なげ か よろこ あぶら 嘆きの代わりに喜びの油を

しず こころ か さん び こころも さず 沈む心の代わりに賛美の衣を授けるために。

かれ ぎ たい ぼく 彼らは義の大木

しゅ えい こう あらわ う もの よ 主が栄光を現すために植えられた者と呼ばれる。

朗読者 きゆうやく せいしよ お 旧約聖書を終わります

使徒書の前にその日にふさわしい詩編を用いてもよい。

詩 編 第 99 編 1 節～9 節

- 1 主は王。すべての民は恐れおののく 神はケルビムに座し、地は震えおののく
- 2 シオンにいます主は偉大 すべての民に아가められる
- 3 神の偉大なみ名はたたえられる 神は畏るべき、聖なる方
- 4 あなたは審きを愛する力ある王 堅く公正を立て、ヤコブの中で審きと正義を行われた
- 5 わたしたちの神、主を아가め その足台のもとにひれ伏せ、神は聖なる方
- 6 神の祭司、モーセとアロン、神を信じるサムエル 彼らは主を呼び求め、神は彼らにこたえられた
- 7 神は雲の柱の中から民に語られ 彼らは与えられた諭しとおきてを守った
- 8 わたしたちの神、主よ、あなたは彼らにこたえられた あなたは赦しを与え、罪には罰で報いられる
- 9 わたしたちの神、主を아가め、尊い山で伏し拝め わたしたちの神、主は聖なる方

使 徒 書

朗読者は次の使徒書を朗読する。

Ⅱ コリント 4:1-10 またはⅠ テモテ 3:1-7

朗読者 使徒書はコリントの信徒への手紙Ⅱ 第 4 章 1 節から

1 こういうわけで、私たちは、憐れみを受けてこの務めに就いているのですから、落胆しません。2 かえって、恥じて隠したりせず、謀 によって歩まず、神の言葉を曲げず、真理を明らかにし、神の前で自分自身をすべての人の良心に推薦します。3 私たちの福音に覆い隠されているとするなら、それは、滅びる者たちにとって覆

い隠かくされているのです。⁴ 彼らかれの場合ば、この世よの神かみが、信じない者しんものの心こころをくらし、神かみのかたちであるキリストの栄光えいこうに関する福音ふくいんの光ひかりが見えないようにしたのです。⁵ 私たちは、自分自身わたしを宣べ伝えるのではなく、主なるイエス・キリストを宣べ伝えています。私たち自身わたしは、イエスのためにあなたがたに仕える僕しもべなのです。⁶ なぜなら、「闇から光が照り出でよ」と言われた神は、私たちの心こころの中なかを照らし、イエス・キリストの御顔みかおにある神の栄光えいこうを悟る光ひかりを与えてくださったからです。

⁷ 私たちは、この宝たからを土つちの器うつわに納めています。計り知れない力ちからが神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにあきなるためです。⁸ 私たちは、四方から苦難を受けても行き詰まらず、途方とほうに暮れても失望くせず、⁹ 迫害されても見捨てられず、倒されても滅びません。¹⁰ 私たちは、死しにゆくイエスをいつもこの身みに負っています。イエスの命いのちがこの身に現れるためです。

朗読者 使徒書を終わります

聖歌 第 210 番 (式文 26・27 頁)

福音書

朗読者は次の福音書を朗読する。朗読の前後には唱和を用いる。

ヨハネ 21:15-17 またはヨハネ 20:19-23

朗読者 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

朗読者 聖ヨハネによる福音書 第 21 章 15 節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光

会衆 主に栄光がありますように

¹⁵ 食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子シ

モン、あなたはこの人たち以上に私を愛しているか」と言われた。ペトロが、「はい、主よ、私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「私の小羊を飼いなさい」と言われた。¹⁶ 二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、私を愛しているか。」ペトロが、「はい、主よ、私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「私の羊の世話をしなさい」と言われた。¹⁷ 三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、私を愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「私を愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何もかもご存じです。私があるあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

朗読者 主に感謝

会衆 主に感謝します

説 教 北海道教区主教

東北教区管理主教 主教 マリア・グレイス 笹森田鶴

ニケヤ信経

一同立って歌いまたは唱える。

わたしたちは、唯一の神、全能の父、天地とすべて見えるものと見えないものの造り主を信じます。

また、世々の先に父から生まれた独り子、主イエス・キリストを信じます。主は神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、造られず、生まれ、父と一体です。すべてのものは主によって造られました。主はわたしたち人類のため、またわたしたちを救うために天から降り、聖霊によっておとめマリヤから肉体を受け、人となり、ポン

テオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、苦しみを受け、死んで葬られ、聖書にあるとおりの三日目によみがえり、天に昇り、父の右に座しておられます。また、生きている人と死んだ人とを審くため、栄光のうちに再び来られます。その国は終わることがありません。

また、主なる聖霊を信じます。聖霊は命の与え主、父と子から出られ、父と子とともに拝みあがめられ、預言者によって語られた主です。また、使徒たちからの唯一の聖なる公会を信じます。罪の赦しのための唯一の洗礼を信認し、死者のよみがえりと来世の命を待ち望みます

アーメン

推 薦

次に司式主教は祭壇の前の座に着き、会衆も着席する。

二人の主教は、正服の一部を着けた主教被選者を伴い、次のように推薦する。

主教よ、さきに選挙され、主教被選者とされた フランシス 長谷川清純 師に手をおき、聖霊の力によって使徒たちからの唯一の聖なる公会の主教に聖別してください

司式主教は、所定の証明書を読ませる。

証明書朗読

1. 司祭按手の証
2. 主教当選確認書
3. 教区主教同意書

続いて主教被選者は、次の誓約をする。

父と子と聖霊のみ名によって、アーメン

神の公会の主教に選挙されたわたし フランシス 長谷川清純 は、旧約聖書と新約聖書は神のみ言葉であり、救いに必要なすべてのことが

しる 記されていると信じます。また日本聖公会の教理、規律、礼拝を順守
せいやく
することを誓約します

一同立つ。司式主教は、会衆に向かい、次のように言う。

司式主教 キリストにある兄弟姉妹よ、フランシス 長谷川清純 師
は、日本聖公会東北教区のため、神の教会の主教として正
しく選ばれました。皆さんは フランシス 長谷川清純 師
が主教に按手されることに同意しますか

会衆 同意します

司式主教 皆さんは、フランシス 長谷川清純 師を主教として支持
しますか

会衆 支持します

し もん
試 問

会衆は着席する。

司式主教は次のように言って試問し、主教被選者は答える。

せい こうかい しゅきよう し と も はん したが ふっかつ せんげん
聖なる公会の主教は、使徒の模範に従って、キリストの復活を宣言
し、福音を説き、また王の王、主の主であるキリストの主権を証す
るようによめ召されています。

あなたは、教会の信仰と一致と規律を擁護するため、新約の聖奠を
し しき ただ おこな し さい しつ じ せいべつ
司式し、それが正しく行われるようにするため、司祭、執事を聖別
し、また主教の聖別に参加するため、そしてすべてのことにおいて、
キリストの群れ全体の忠実な牧者、健全な模範となるために召され
ています。

あなたは同僚の主教たちとともに、世界に広がる教会の共同的指導
の務めにあずかなければなりません。またあなたは、族長、預言者、
し と じゆんきようしゃ はじ き ぼう かみ あお よ よ ひと しんこう
使徒、殉教者を初め希望をもって神を仰いできた世々の人びとの信仰
を受け継いでいます。あなたは仕えられるためではなく、仕えるため、

また^{おお}多くの^{ひと}人の^{あがな}贖^いとして^{いのち}命^{あた}を^こ与^{かた}えるために^{したが}来^られた方^{かた}に従^{したが}うとき、^{よろこ}喜^みびに満^みたされるでしょう

司式主教 あなたは、神^{かみ}があなたを主^{しゅ}教^{きやう}の務^{つと}めに召^めされたと信^{しん}じますか

答 信^{しん}じます

司式主教 あなたはこの召^{しょう}命^{めい}を受け入れ、キリストに全^まく服^{ふく}従^{じゆう}してそれにこたえますか

答 わたしはキリストに^{したが}従^{したが}い、そのみ^な名^なによつて^{つか}仕^{つか}えます

司式主教 あなたは、イエス・キリストへの^{しんこう}信^{しん}仰^{かう}を^{とお}通^{せい}して、^{せいしょ}聖^{せい}書^{しょ}を^{えい}永^{えい}遠^{えん}の救^{すく}いに^{ひつよう}必要^{ひつ}な^{よう}すべ^{すべ}ての^{けい}こ^じを^う啓^{けい}示^ししているものとして^う受^うけ入^いれますか

答 そのように^う受^うけ入^いれます

司式主教 あなたは、日本^{にっぽん}聖^{せい}公^{こう}会^{かい}が公^{こう}会^{かい}のえ^うだとして^つ受^うけ継^ついできたキリスト^{きやうしんこう}教^{きやう}信^{しん}仰^{かう}の^{きやう}教^り理^{しん}を^{つと}信^{しん}じ、あなた^{つと}の務^{つと}めとして^{つと}これ^{つと}を^と説^{おし}き、^{おし}教^{おし}え^{おし}ますか

答 これを^{しん}信^{しん}じ、^と説^{おし}き、^{おし}教^{おし}え^{おし}ます

司式主教 あなたは、キリストの^{こころ}心^{こころ}を^{こころ}心^{こころ}とするために、^{ちゆうじつ}忠^{ちゆう}実^{じつ}に^{いの}祈^{いの}り、また^{せいしょ}聖^{せい}書^{しょ}を^{まな}学^{まな}ぶ^{つと}こ^{つと}を^{つと}努^{つと}め^{つと}ますか

答 神^{かみ}の^{たす}助^{たす}けによつて^{つと}努^{つと}め^{つと}ます

司式主教 あなたは、あなた^{たみ}の^{こころ}民^{こころ}の^め心^めの^{ひら}目^{ひら}を^{りやうしん}開^{りやう}かせ、^{ふん}良^{ふん}心^きを^き奮^き起^きさせるため、^{だいたん}大^だ胆^{いたん}に、キリストの^{ふくいん}福^{ふく}音^{いん}を^{せんげん}宣^{せん}言^{げん}し、^と説^とき^あ明^あかし^あますか

答 ^{せいれい}聖^{せい}霊^{れい}の^{ちから}力^{ちから}によつて^{つと}努^{つと}め^{つと}ます

司式主教 祭司^{さいし}の^{ちやう}長^{ちやう}、牧^{ぼく}者^{しや}の^{ちやう}長^{ちやう}として、あなたは洗^{せん}礼^{れい}を^う受^うけたすべ^うての^う人^うに^うそ^うの^う賜^う物^うを^う保^うた^うせ、^{ほうし}奉^{ほう}仕^しの^{つと}務^{つと}め^{はげ}を^{はげ}励^{はげ}まし、^{かみ}神^{かみ}の^{ゆた}豊^{ゆた}かな^{ゆた}恵^{ゆた}みによつてこの^{ひと}人^{ひと}びと^{ひと}とを^や養^やい、^た絶^たえずこの^{ひと}人^{ひと}びと^{ひと}のため^{ひと}に^{ひと}祈^{ひと}り、キリストが^{さだ}定^{さだ}められた^{せいてん}聖^{せい}奠^{てん}をこの^{ひと}人^{ひと}びとと

ともに^{おこな}行いますか

答 ^{たましい}魂の^{だいぼくしゃ}大牧者、^{だいさいし}大祭司である^なキリストの^{つと}み名によって努めます

司式主教 ^{きょうかい}あなたは^{しんこう}教会の^{いっち}信仰と^き一致と^{りつ}規律を^{ようご}擁護しますか

答 ^{かみ}神の^{あい}愛に^{もと}基づいて^{つと}努めます

司式主教 ^{こうかい}あなたは^{おさ}公会を^{しゅきょうだん}治めるため、^{しゅきょうだん}主 教 団の^{うち}うちにあつて、^{つと}その^わ務めを^あ分かち^{どうろう}合いますか。また、^し同^{さい}労の^{さき}司祭たちを^{さき}支え、
また^し司祭たちの^{じょげん}助言を^{もと}求めますか。執事たちまた^{しつ}教会で^{きょうかい}
^{ほうし}奉仕する^{ひと}すべての^{みちび}人を^{ちから}導き、^{ちから}力づけますか

答 ^{かみ}神の^{めぐ}恵みによって^{つと}努めます

司式主教 ^{ひと}あなたは^{しんせつ}すべての^{まず}の人に^{ひと}親切であり、^よ貧しい^よ人、^よ寄る^よべない^よ人、^{ひと}助け^{ひと}手の^{まも}ない^{まも}人^{まも}びとの^{まも}身^{まも}になって^{まも}この^{まも}人^{まも}びとを^{まも}守りますか

答 ^{あと}キリスト・イエスの^{したが}み跡に^{つと}従って^{つと}努めます

司式主教 ^かあなたは、^{ぞく}あなたと^{せいかつ}家族の^{みち}生活を、^{みち}キリストの^{みち}道に^{みち}かなわ^{みち}せる^{みち}ように^{つと}努めますか

答 ^{かみ}神の^{たす}助けによって^{つと}努めます

^{かいしゅう}会衆の^{いの}祈り

司式主教は会衆に向かって言う。

^{あい}愛する^{きょうだい}兄 弟^し姉 妹^{まい}よ、^{ぜん}全能の^う神が^{かみ}いま、^{こうかい}公会の^{しゅきょう}主 教 の^{しよく}職 に^め召 された^めこの^{しもべ}僕 を^う受け、^{しゆくふく}祝 福 して^{いの}くださる^{いの}ように^{いの}祈 りましょ

一同ひざまずいて、しばらく黙祷する。

続いて聖職按手の嘆願を歌いまたは唱える。

司式者 ^{ちち}父なる^{かみ}神よ

会衆 ^{あわ}憐れみをお与え^{あた}ください

司式者 ^こ子なる^{かみ}神よ

会衆 ^{あわ} 憐れみをお与えください
司式者 ^{せいれい} 聖霊なる ^{かみ} 神よ
会衆 ^{あわ} 憐れみをお与えください
司式者 ^{せい} 聖なる ^{さん} 三位 ^い 一体 ^{かみ} の神よ
会衆 ^{あわ} 憐れみをお与えください

司式者 ^{つみ} すべての罪、^{こうまん} 高慢、^{きよえい} 虚栄、^ぎ 偽善、^{ぜん} ねたみ、^{にく} 憎しみ、^{うら} 恨み、また
^む すべて ^じ の無慈悲から

会衆 ^{しゅ} 主よ、^{すく} お救いください
司式者 ^よ 世と肉と悪魔の誘惑、^{にく} 怠惰、^{あく} 快楽にふけり、^ま 金銭におぼれ、^{ゆうわく} 金銭におぼれ、^{たい} 怠惰、^だ 快楽にふけり、^{かいらく} 金銭におぼれ、^{きんせん} 金銭におぼれ、
またすべて ^{こころ} 心をかたくなにし、^{しゅ} 主のみ言葉と ^{こと} 戒めを ^{いまし} 軽んじ
^{かる} ることから

会衆 ^{しゅ} 主よ、^{すく} お救いください
司式者 ^{かな} 悲しみにも、^{よろこ} 喜びにも、^し 死に臨むときにも、^{のぞ} 審きの ^{さば} 日にも ^ひ

会衆 ^{しゅ} 主よ、^{すく} お救いください
司式者 ^{しゅ} 主なる ^{かみ} 神よ、^{せい} 聖なる ^{こうかい} 公会を ^{おさ} 治め ^{みちび} 導き、^{あい} 愛と ^{しん} 真理で ^り 満たし、^み
^{こころ} 心 ^{いっ} かなう ^ち 一致をお与えください ^{あた}

会衆 ^{しゅ} 主よ、^き お聞きください
司式者 ^{しゅきよう} すべての主、^し 司祭、^{しつ} 執事がその ^{おし} 教えと ^{せいかつ} 生活をもつて ^{こと} み言葉
^の を ^{つた} 宣べ伝えることができますように

会衆 ^{しゅ} 主よ、^き お聞きください

次の願いは、司式主教が言う。

司式主教 ^{いま} 今、^{しゅきよう} 主 ^{しよく} 教の ^{せいべつ} 職に ^{しもべ} 聖別されるこの ^{しゅく} 僕を ^{しゅ} 祝し、^{こうかい} 主と公会に
^{つか} よく ^な 仕え、^{えいこう} み名の ^{あらわ} 栄光を ^{あらわ} 現すことができますように

会衆 ^{しゅ} 主よ、^き お聞きください
司式者 ^{しゅ} 主の ^{たみ} 民を ^{しゅく} 祝し、^{こと} み言葉 ^き を ^{おこな} 聞き、^{つた} これを行 ^{つた} い、これを ^{つた} 伝え、
^{めぐ} ますます ^{くわ} 恵みを ^{せいれい} 加えられ、^み 聖霊 ^{むす} の実を ^{むす} 結ばせてください

会衆 主よ、お聞きください
 司式者 主の刈り入れ場に多くの働き人をお送りください
 会衆 主よ、お聞きください
 司式者 信仰に立つ者を強め、倒れた者を起こし、心の弱い者を力
 づけ、悪魔をわたしたちの足もとに打ち伏せてください
 会衆 主よ、お聞きください
 司式者 すべて迷っている人、欺かれた人、心の閉ざされている人
 をまことの道に導いてください
 会衆 主よ、お聞きください
 司式者 主を知らない人、信仰を失った人びとが、福音の光を受け
 ることができますように
 会衆 主よ、お聞きください
 司式者 国々、人びとの内に尊敬と忍耐の心が増し加わり、世界に
 平和と一致が与えられますように
 会衆 主よ、お聞きください
 司式者 貧しい人、病氣の人、飢えに苦しんでいる人、差別と迫害
 の中にある人、その他すべて危険の中にある人が重荷から解
 放され守られますように
 会衆 主よ、お聞きください
 司式者 わたしたちにまことの悔い改めを与え、すべての罪と怠り
 と過ちを赦し、み言葉に従って行いを改めるために、聖霊
 の恵みをお与えください
 会衆 主よ、お聞きください

次に司式主教は立つて言う。

司式主教 わたしたちの罪をお赦しくくださる憐れみ深い主よ、あなたは
 み子^この名^なによって祈^{いの}り^{いの}をお聞きくださいます。どう
 か信仰^{しんこう}をもって願^{ねが}う祈^{いの}り^うを受け入れ、わたしたちがみ旨^{むね}を

おこな
行 う ことが できます ように、主 イエス・キリスト によつ
ねが
て お願 い いた します。アーメン

一同 ひざまず いた まま、次の 聖歌 を うたい ある いは 唱える。

298

聖職按手式

(主教) (聖職・信徒)



1 せ い れ い く だ り て 主 の つ く り ま し し
2 な ぐ さ め ぬ し な る い け る せ い れ も の し
3 み か み の や く せ る な な の た い も の と
4 こ こ ろ の く ら き を て ら し み ち び き て
5 わ れ ら を み ち び く へ い わ の み か み よ
6 ち ち み 子 せ い れ い み つ の く ら い な る

(主教) (聖職・信徒)



こ こ ろ に め ぐ み を あ ふ れ し め た ま え
わ れ ら に と も な い い ま か た り た ま え
ま こ と の こ と ば を い ま あ た え た ま え
な や め る わ れ ら を い ま つ よ め た ま え
あ く よ り ま も り て す す ま し め た ま え
み か み の さ か え と こ し え に う た わ ん

1 せいれい くだ 主の つくりましし
こころ めぐ 心に恵みを あふれしめたまえ



ア ー メ ン

8888 (LM)

2 なぐさ ぬし 慰め主なる 生ける聖霊よ
われらに伴い 今 語りたまえ

3 かみ やく み神の約せる 七の賜物と
まことの言葉を 今 与えたまえ

4 くら 心の暗きを 照らし導きて
なや 悩めるわれらを 今 強めたまえ

5 われらを導く 平和の み神よ
あく まも 悪より守りて 進ましめたまえ

6 ちち こ せいれい 父 み子 聖霊 三つのくらいなる
み神の栄えを とこしえに歌わん アーメン

使19：6 1コリ2：13 ヨハ16：13 黙3：1

しゅきょうせいべつ 主教聖別

司式主教は臨席主教とともに立つ。主教被選者は司式主教の前にひざまずく。

会衆は立つ。

司式主教は主教被選者に向かって手を延べて言う。

ぜんのう ちち ひろ せ かい ぜんじんるい すく いっ ち せい
全能の父よ、あなたが広く世界に、全人類の救いと一致のために、聖
なる公会を主の聖なる民、祭司の国として建てられたことを賛美し、
ほめたたえます。あなたが、信仰の使徒また大祭司、魂の大牧者と
して、独りのみ子イエス・キリストをお与えくださったことを賛美し、
ほめたたえます。み子がその死によって死に勝ち、天に昇り、聖徒た
ちを整えて奉仕の業を行わせ、主の体を建てるために、豊かな賜物
を与え、ある人を使徒、ある人を預言者または伝道者、牧師、教師
としてくださったことを賛美し、ほめたたえます。今、主の教会に
ゆだねられた務めを分かち合うために、み名によって聖別するこの主
の僕をお召しくださったことを感謝します

司式主教と臨席主教は主教被選者の頭に手をおき、ともに言う。

しゅ きょうかい しゅきょう つと はたら しゅ しもべ
主の教会における主教の務めと働きのために、主の僕フランシスに
せいれい そそ
聖霊を注いでください。アーメン

続いて司式主教は言う。

ぜんのう ちち し と あた めぐ ちから しもべ み
全能の父よ、使徒たちにお与えになった恵みと力を、この僕に満た
してください。救いの福音を宣言するためにゆだねられた人びとを導
くことができますように。彼を通して主の教会を強め、その働きを
日々新たにし、聖徒たちを真理と愛の聖なる交わりのうちに結び合わ
せてください。まことの牧者として主の群れを養い治める力と、教師
として教え導く知恵と悟りを与え、信仰と聖奠の擁護者として堅く立
たせてください。主の民の礼拝をつかさどるとき、僕を導いてくだ

さい。僕にへりくだりの心を与え、傷つけるためではなくいやすために、倒すためではなく建てのために、その権威を用いさせてください。彼をすべての悪から守り、主の家族を治める者、キリストの代理者として、責められることなくみ前に立たせ、遂に主のすべての僕とともに、永遠の喜びにあずからせてください

慈しみ深い父よ、み子イエス・キリストによってわたしたちの祈りをお受けください。父と聖霊とともに栄光と誉れと賛美が、今も、世々に限りなく、み子にありますように。アーメン

新主教は立つ。司式主教は聖書を渡しながら言う。

聖書を受けなさい。ここに永遠の命のみ言葉が記されています。あなたの道を照らす光として、このみ言葉を受け、世界に宣言しなさい。聖霊があなたを牧者として遣わされた群れの中にあって、すべての羊を見守りなさい。信じる者を励まし、失われた者を導きかえし、キリストの体を打ち建てなさい。主イエスが祈られた全人類の一致をめざして努め、大牧者が再び来られる時、朽ちることのない栄光の冠を受けることができますように

主教按手の証朗読

主教着座

ここで指輪を授与する。続いて司式主教は祭壇上におかれた牧杖を受け、次の言葉を用いて新主教に牧杖を渡し、主教座に着かせる。

日本聖公会と日本聖公会東北教区の聖職と信徒を代表して、わたしは、あなたにこの牧杖を渡します。司牧のしるしであるこの牧杖を、あなたが主キリスト・イエスのみ名によって用いるとき、良い羊飼

いであるキリストが、あなたを^{ささ}支えてくださいますように。アーメン

^{へい わ} ^{あい さつ}
平和の挨拶

一同立つ。

新主教 ^{しゅ} ^{へい わ} ^{みな}
主の平和が皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

新主教 ^{へい わ} ^{あい さつ} ^か
平和の挨拶を交わしましょう

司式主教と臨席主教は、新主教に「主の平和」と言って挨拶を交わす。

次に一同互いに挨拶を交わす。ここで聖餐式の奉獻に移る。

新主教は、ほかの主教とともに聖餐式を司式する。

^{ほう} ^{けん}
奉 献

ここで次の言葉を歌いまたは唱える。

執事 ^な ^{えいこう} ^{しゅ} ^き ^{そな} ^{もの} ^{ささ}
み名にふさわしい栄光を主に帰し、供え物を献げましょう

^{かみ} ^{たいのう} ^{ふる} ^お
神よ、あなたの大能を奮い起こしてください。わたしたちのため
^{わざ} ^{おこな} ^{かみ} ^{ちから} ^{しめ}
にみ業を行われた神よ、み力を示してください。エルサレ
^{みや} ^{おう} ^{おく} ^{もの} ^{ささ}
ムにあるあなたの宮のために王たちは贈り物を献げるでしょう。

ハレルヤ

(詩 68 : 28,29)

信施はここで集め、会衆の代表者は、パンとぶどう酒および信施を司祭に渡す。司祭はこれを供えるとき、次の祈りを用いる。会衆の言葉は歌ってもよい。

^{せい} ^か ^{だい} ^{ばん}
聖 歌 第 250 番 (式文 28・29 頁)

新主教 ^{ぜんのう} ^{ちち} ^{かみ} ^{しん} ^せ ^{そな} ^{もの} ^う ^{しゅ} ^{わざ}
全能の父なる神よ、この「信施」供え物を受け、主のみ業の
^{もち}
ために用いてください

会衆 ^{もの} ^{しゅ} ^{たまもの} ^{しゅ} ^う ^{しゅ} ^{ささ}
すべての物は主の賜物。わたしたちは主から受けて主に献げ

会衆はひざまずく。

感謝聖別

新主教 ^{しゅ みな} 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

新主教 ^{こころ かみ} 心を神に

会衆 ^{しゅ こころ ささ} 主に心を献げます

新主教 ^{しゅ かみ かんしや} 主なる神に感謝しましょう

会衆 感謝と賛美はわたしたちの務めです

新主教 ^{せい ちち えいえん ぜんのう かみ} 聖なる父、永遠にいます全能の神よ、いづどこにおいても、
^こみ子イエス・キリストによって、^{しゅ かんしや}主に感謝し、^{しゅ さん び}主を賛美する
のは、^{ただ よろこ}正しく喜ばしいことです。

^こみ子は、^{ちち い}父の生きたみ言です。^{ことば}父は^{ちち こ}み子によって^{えいえん はじ}永遠の初
^{ばんぶつ つく}めから万物を造り、^にみかたちに似せてわたしたちを^{つく}造られました。

^{ちち こ ひと う}父は、み子を人として生まれさせ、^{じゅうじ か し ふっかつ}十字架の死と復活によ
って、^{つみ くさり}わたしたちを罪の鎖から解放し、^{かいほう こ}み子をご自身の右
^あに挙げられました。

そして^{せいれい おく}聖霊を送り、^{かみ たみ}わたしたちを神の民として^{まえ た}み前に立たせ、
^{しゅ さいし}主の祭司として^{しゅ}主とすべての人びとに^{ひと つか}仕えさせてくださいま
す

ことに、^{しゅ}主イエス・キリストは^{てん のぼ}天に昇り、^{ちち みぎ ざ}父の右に座して^{のち}後、
^{こうかい}公会に^{せいれい くだ}聖霊を降し、^{ちから}そのみ力によって^{ばんこく えいえん ふくいん}万国に永遠の福音を宣
べ伝えさせられました。わたしたちは^{つた}聖霊によって、^{せいれい}闇と惑
^{なか あき ひかり みちび}いの中から明らかな光に導かれ、^{ちち こ}父とそのみ子イエス・キ
リストを^しまことに知ることができます

ゆえにわたしたちは、み^{つか}使いとみ^{つか}使いの^{かしら}頭および^{てん}天の^{ぜんかい}全会
衆^{しゅう}とともに、主^{しゅ}の^{とうと}尊^ない^{つね}み^{しゅ}名を^{うた}あがめ、常に主をたたえて歌
います

一同次の言葉を歌いまたは唱える。

聖^{せい}なるかな、聖^{せい}なるかな、聖^{せい}なるかな、^{ばん ぐん}万軍の神
主^{しゅ}の^{えい こう}栄光は^{てん ち}天地に^み満つ
いと^{たか}高きところに^{ホサナ}ホサナ

続いて一同次の言葉を歌いまたは唱えてもよい。

ほめた^{しゅ}たえよ、主^なのみ^こ名によって^{かた}来られる方を
いと^{たか}高きところに^{ホサナ}ホサナ

新主教 ^{てん}天の^{ちち}父よ、^{すく}救い^{ぬし}主、^こみ子イエス・キリストによってわたした
ちの^{かん しゃ}感謝・^{さん び}賛美をお^う受けください。わたしたちは^こみ子^もの^{はん}模範
にならい、その^{さだ}み^{したが}定めに従ってこの^{せい てん}聖奠^{おこな}を行います。どう
か^{こと}み^ば言葉と^{せい れい}聖霊により、主^{しゅ}の^{たまもの}賜物であるこの^{しゅ}パンと^{ぶ どう}ぶどう酒
を^{しゅく}祝し、^{せい}聖として、わたしたちのために^こみ子^{とうと}の^{からだ}尊^ちい^ち体と血
にしてください。

主^{しゅ}イエスは^{わた}渡される^{よる}夜、^とパンを取り、^{かん しゃ}感謝してこれを^さ裂き、
弟子^{で し}たちに^{あた}与えて^い言われました。「^と取^たって^さ食^えべなさい。これ
は^{あた}あなたがたのために^{からだ}与えるわたしの^{き ねん}体です。わたしを^{おこな}記念
するため、このように^{おこな}行いなさい」

また^{しょく じ}食事の後、^{のち}杯^{さかずき}を取り、^と感謝して^{かん しゃ}彼らに^{かれ}与えて^{あた}言われ
ました。「^{みな}皆この^{さかずき}杯^のから^{つみ}飲^{ゆる}みなさい。これは^え罪の^な赦しを得
させるようにと、^{おお}あなたがたおよび^{ひと}多くの^{なが}人のために^{なが}流すわ
たしの^{あた}新しい^{けいやく}契約の^ち血^のです。飲むたびにわたしの^{き ねん}記念とし
てこのように^{おこな}行いなさい」

一同 キリストは^し死に

キリストはよみがえり

キリストは再び来られます

新主教 天の父よ、わたしたちはこのパンとこの杯によって、み子が
ただ一たび献げられた十字架の犠牲を記念し、栄光ある
復活、昇天を宣言し、み子が再び来られるまでこの祭りを行います。

どうかこの感謝・賛美のいけにえを天の祭壇に至らせ、大
祭司であるみ子によってお受けください。み前でこの聖なる
賜物にあずかるとき、わたしたちを聖霊によって新たにし、主
の愛によって生かし、み子イエス・キリストの体であ
る教会のうちに結び合わせ、天の全会衆とともにみ名をあが
めさせてください

一同 わたしたちのうちに働く力によって、わたしたちが求めま
た思うところの一切を、はるかに越えてかなえてくださること
ができる方に、教会により、またキリスト・イエスによ
って、栄光が世々に限りなくありますように アーメン

(エフェソ 3:20,21)

ここでしばらく黙祷してもよい。

ばい さん
陪 餐

新主教は次の言葉を歌いまたは唱える。

新主教 救い主キリストが教えられたように祈りましょう

一同主の祈りを歌いまたは唱える。

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。

みこころが^{てん}天に行われると^ちおり地にも行われますように。

わたしたちの^ひ日ごとの^{かて}糧を^{きょう}今日も^{あた}お与えください。

わたしたちの^{つみ}罪をおゆるしくください。わたしたちも^{ひと}人をゆるします。

わたしたちを^{ゆうわく}誘惑におちいらせず、^{あく}悪から^{すく}お救いください。

続いて一同次の言葉を歌いまたは唱える。

^{くに}国と^{ちから}力と^{えいこう}栄光は、^{えいえん}永遠にあなたのものです アーメン

新主教はパンを裂く。そのとき、次のように言う。

新主教 わたしたちが^さパンを裂くとき

会衆 キリストの^{からだ}体にあずかります (I コリント 10:16)

新主教 パンが^{ひと}一つであるから

会衆 わたしたちは^{おお}多くいても、^{ひと}一つの^{からだ}体です (I コリント 10:17)

続いて次の言葉を歌いまたは唱えてもよい。

^よ世の^{つみ}罪を除く^{のぞ}神の^{かみ}小羊よ、^こ憐れみ^こをお与え^{あわ}ください^{あた}

^よ世の^{つみ}罪を除く^{のぞ}神の^{かみ}小羊よ、^こ憐れみ^こをお与え^{あわ}ください^{あた}

^よ世の^{つみ}罪を除く^{のぞ}神の^{かみ}小羊よ、^こ主の^{しゅ}平安^{へいあん}をお与え^{あた}ください

主教とほかの受聖餐者は陪餐する。分餐のとき、おのおの次のように

言い、陪餐者は「アーメン」と言う。

あなたのために^{あた}与えられた^{しゅ}主イエス・キリストの^{からだ}体 アーメン

あなたのために^{なが}流された^{しゅ}主イエス・キリストの^ち血 アーメン

陪餐のときに、陪餐唱または聖歌を用いてもよい。当日の旧約聖書、使徒書、福音書の中の適当な言葉を陪餐唱として用いてもよい。

聖品が尽きたときは、再度の感謝聖別（祈祷書 186 ページ以下）の式文を用い、残ったときは、その場で慎んで飲食してしまう。

新主教 ^{いの}祈りましょう

一同次の祈りを唱える。

^{えいえん}永遠にいます^{ぜん}全能の^{かみ}神よ、この^{せいてん}聖奠にあずかった^{もの}者を、^こみ子イエス・
^{とうと}キリストの^{からだ}尊い^ち体と^{やしな}血をもって、^{かんしゃ}養ってくださることを感謝します。
^{しゅ}主はこれによって、わたしたちが^こみ子の^{からだ}体のえだであり、^{くに}み国の^よ世継
ぎであることをいよいよ^{あき}明らかにしてくださいました。^{てん}天の^{ちち}父よ、わ
たしたちは^こみ子によって、^{こころ}心も^{からだ}体も^い生きた^{そな}供え物として^{もの}献げます。
^{せいれい}どうか、^{せいれい}聖霊によってわたしたちをこの世に^よ遣わし、^{つか}み旨を行^{むね}う者
とならせてください。^{えいこう}栄光は世々に^よ限りなく、^{ちち}父と^こ子と^{せいれい}聖霊にありま
すように **アーメン**

新主教紹介／挨拶・来賓紹介・来賓祝辞・東北教区謝辞

新主教は次の言葉を用いて会衆を祝福する。

^{ちち}父と^こ子と^{せいれい}聖霊なる^{ぜん}全能の^{かみ}神の^{めぐ}恵みが、^{つね}常に^{みな}皆さんとともにありますよ
うに **アーメン**

一同、立って次の唱和を用いる。

執事または司祭 ^{しゅ}ハレルヤ、^い主とともに行きましょう
会衆 ^{しゅ}ハレルヤ、^な主のみ名によって **アーメン**

^{せい}聖 ^か歌 ^{だい}第 555 ^{ばん}番 （式文 30・31 頁）

使用聖歌集

1 みくらをいかのこめるケルビムセラフィム
 2 みつかいののこしらべう地にちみびく
 3 主よ主のえいこうてんちみちて

せいなるせいなるせいなるみかみ
 せいなるせいなるせいなるみかみ
 せいなるせいなるせいなるみかみ

主よ主のえいとこてんにも地にも
 セラフィムとのみ名をかれのたはみたえん
 えいこうのみのうをわらはたえん

たがいにささげるさんびはみちる
 ひとにかささばれさんびはみちる
 いとにかささばれさんびはみちる

8787D

Round the Lord in glory seated
 Richard Mant (1776-1848)

RUSTINGTON
 Charles Hubert Hastings Parry (1848-1918)

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | み ^{くら} 座 ^{かこ} を開める | ケルビム セラフィム |
| | 聖 ^{せい} なる 聖 ^{せい} なる | 聖 ^{せい} なる み神 ^{かみ} |
| | 主 ^{しゅ} よ 主 ^{えいこう} の栄光 | 天 ^{てん} にも地 ^ち にも |
| | 互 ^{たが} いにささげる | 賛美 ^{さんび} は満 ^み ちる |
| 2 | み ^{つか} 使 ^{しら} いの調 ^{しら} べ | 地 ^ち に鳴 ^な り響 ^{ひび} く |
| | 聖 ^{せい} なる 聖 ^{せい} なる | 聖 ^{せい} なる み神 ^{かみ} |
| | セラフィムとともに | 神 ^{かみ} の民 ^{たみ} らは |
| | 一 ^{ひと} つに結 ^{むす} ばれ | 賛美 ^{さんび} をささぐ |
| 3 | 主 ^{しゅ} よ 主 ^{えいこう} の栄光 | 天 ^{てん} 地 ^ち に満 ^み ちて |
| | 聖 ^{せい} なる 聖 ^{せい} なる | 聖 ^{せい} なる み神 ^{かみ} |
| | 栄光 ^{えいこう} の み名 ^な を | われらはたたえん |
| | いと高 ^{たか} き神 ^{かみ} に | 祝福 ^{しゅくふく} あれと |

イザ6：1-4 黙4：1-11 ロマ16：27

1 み たい み の つ — ど い — に
 2 せ たい な る つ み — や あ い — て
 3 つ か え あ を う や し い — は
 4 み か た み を や し な — う

主め主せ のさのい れれあな いるつる をしきつ ともみと そべちめ ぎはとは

つまたは かこしげ えとかま るをなし めつるを ぐた知あ みえ恵た をるをえ

しつこま めかこよ しえろい まびにを ととはと わとぐり せなくさ よるむる

8888 (LM)

Pour out thy Spirit from on high
 James Montgomery (1771-1854)

DUKE STREET
 John Hatton (ca.1710-1793)

- 1 み民^{たみ}の集^{つど}いに 主^{しゅ}の霊^{れい}を注^{そそ}ぎ
仕^{つか}える恵^{めぐ}みを 示^{しめ}し まとわせよ
- 2 聖^{せい}なる宮^{みや}にて 召^めされるしもべは
真^ま理^りをつた 伝える 仕^めえびととなる
- 3 仕^めえあう愛^{あい}は 主^{しゅ}の熱^{あつ}き道^{みち}と
たしかなる知^ち恵^えを 心^{こころ}にはぐくむ
- 4 み民^{たみ}を養^{やしな}う 聖^{せい}なる務^{つと}めは
はげましを^{あた}え 迷^{まよ}いを取^とり去^さる

イザ42：1-9 2コリ4：5-6 2コリ5：14-19 マラ2：5-7



ハレ ルーヤ 主 イエスーは 死 に か ち まーせ り



ハレ ルーヤ わ が 主ーは 世 を す べ たーも う



す べ てーの く に よーり あ が なーわ れーた る



たーみ らーた かーら か---に 主 を ほーめ ま つ る

8787D

Alleluia! sing to Jesus!
William Chatterton Dix (1837-1898)

HYFRYDOL
Rowland Hugh Prichard (1811-1887)

1	ハレルヤ 主 ^{しゅ} イエスは	死 ^し に勝 ^か ちませり
	ハレルヤ わが主は	世 ^よ を続 ^す べたもう
	すべての ^{くに} 国より	贖 ^{あがな} われたる
	民 ^{たみ} ら 高 ^{たか} らかに	主をほめまつる

— 2	ハレルヤ 主 ^{しゅ} イエスの	誓 ^{ちか} いに頼 ^{たの} む
	ハレルヤ わが主は	雲 ^{くも} に包 ^{つつ} まれ
	み ^{くに} 国に昇 ^{のぼ} りて	われらを祝 ^{しゅく} し
	世 ^よ の終 ^お わりまでも	共 ^{とも} にまします

3	ハレルヤ 主 ^{しゅ} イエスは	祭 ^{さい} 司 ^し の長 ^{おさ} ぞ
	ハレルヤ ひとたび	いけにえ献 ^{ささ} げ
	たえせず み ^{かみ} 神の	み ^{まえ} 前 ^た に立ちて
	罪 ^{つみ} あるわれらを	執 ^と り成 ^な したもう

4	ハレルヤ 主 ^{しゅ} イエスは	命 ^{いのち} の糧 ^{かて} ぞ
	ハレルヤ われらを	つねに養 ^{やし} う
	飢 ^う え渴 ^{かわ} く者 ^{もの} を	きよき宴 ^{うたげ} に
	迎 ^{むか} えてたまわる	その み ^{からだ} 体を

5	ハレルヤ 主 ^{しゅ} イエスは	世 ^よ を続 ^す べ治 ^{おさ} む
	ハレルヤ み ^{くら} 座は	永 ^と 遠 ^わ にゆるがず
	血 ^ち しおを流 ^{なが} して	死 ^し と 陰 ^{いん} 府 ^ふ に勝 ^か ち
	み救 ^{すく} いをたもう	ほめよ たたえよ

ヘブ12：2 使1：9 マタ28：20 ヘブ4：14-5：10 ロマ15：11

1 と き を こ え あ い の の ち か ら は
2 み だ こ と ば は い ま の ち の は ら ず は
3 だ い い と せ は い ま の ち の は ら ず は
4 せ せ か い ス は い ま の ち の は ら ず は
5 主 イ エ ス は い ま の ち の は ら ず は

org.

わ が こ こ ろ さ が し - あ て
た ま の し の お か も た り - か け
こ う た 去 が い て し り - け
過 去 を す す て こ い - と

す く い に ゆ る し み ち び く
や め り る あ か り も と も め する
れ か わ も か い た を い か や わ す
じ ゆ う じ か で た ま れ か わ や わ す

Lord, for the years
Timothy Dudley-Smith (1926-)

LORD OF THE YEARS
Michael Alfred Baughen (1930-)



12 10 11 10

1 ^{とき}時を超え ^こ愛の力は ^{あい}わが心 ^{ちから}さがしあて
^{すく}救いに ^{みちび}ゆるし導く ^{かんしゃ}感謝を主 ^{しゅ}にささげよ

2 ^{ことば}み言葉は命 ^{いのち}の泉 ^{いずみ}魂 ^{たましい}に語りかけ ^{かた}
^{やみよ}闇夜に ^{とも}あかりを灯す ^{さんび}賛美を主 ^{しゅ}にささげよ

3 ^{だいち}大地を ^{いま}今も ^{おさ}主は治め ^よこの世の ^{おもに}重荷を ^と解く
^{れい}霊なる ^{かて}糧を ^{もと}求める ^{いの}わが祈り ^き聞きたまえ

4 ^{せかい}世界は主の ^てみ手の中に ^{なか}疑 ^{うたが}いを ^{しんこう}信仰に
^{かわ}渴きも ^{いた}痛みも ^くいやす ^{のぞ}み国を ^{しゅ}せつに望む

5 主イエスは命のみなもと ^か過去 ^こを ^す捨て ^{みらい}未来へと
^{じゅうじか}十字架で ^う生まれ ^か変わり ^た主のため ^{しゅ}立たせたまえ

シラ21：13 セカ14：9 ヨハ6：27 ロマ3：23-25

日本聖公会東北教区 主教按手式・教区主教就任式

礼拝奉仕者一覧

■ 司式主教	主教	ルカ	武 藤 謙 一 (日本聖公会首座主教・九州教区主教)
■ 司式主教チャプレン	司祭	エッサイ	矢 萩 新 一 (管区事務所総主事)
■ 新主教チャプレン	司祭	ステパノ	越 山 哲 也
■ 推 薦 者	主教	オーガスチン	小 林 尚 明 (神戸教区主教)
	主教	アシジのフランシス	西 原 廉 太 (中部教区主教)
■ 聖書朗読			
旧約聖書朗読		ダビデ	石 場 正 樹
使徒書朗読		カタリナ	高 橋 仁 美
福音書朗読	主教	フランシスコ・ザビエル	高 橋 宏 幸 (東京教区主教・北関東教区管理主教)
■ 説 教	主教	マリア・グレイス	笹 森 田 鶴 (北海道教区主教・東北教区管理主教)
■ 証明書朗読			
司祭按手の証	司祭	ステパノ	涌 井 康 福
主教当選確認書	司祭	ヤコブ	林 国 秀
各教区主教同意書	司祭	エッサイ	矢 萩 新 一
主教就任承諾書	司祭	ヨハネ	八 木 正 言
主教按手の証	主教	イグナシオ	入 江 修 (横浜教区主教)
■ 会衆の祈り	主教	アンデレ	磯 晴 久 (大阪教区主教)
■ 按 手	主教	ルカ	武 藤 謙 一
	主教	ステパノ	高 地 敬 (京都教区主教)
	主教	ダビデ	上 原 榮 正 (沖縄教区)
	他臨席主教		
■ 聖書授与	主教	ルカ	武 藤 謙 一
■ 指輪授与		バルナバ	赤 坂 有 司
■ マイター授与	主教	ルカ	武 藤 謙 一
■ 牧杖授与	主教	ルカ	武 藤 謙 一

■ 聖餐式司式	主教 フランシス	長谷川清純（新主教）
	主教団共同司式	
■ ディーコンパート	司祭 テモテ	遠 藤 洋 介
■ サーバー	司祭 ドミニコ	李 贊 熙
	司祭 パウロ	渡 部 拓
■ 十字架奉持	司祭 テモテ	遠 藤 洋 介
■ オルターギルド		仙台基督教会
■ オルガニスト	セシリア	竹石由美子
■ アッシャー		東北教区主教按手式実行委員
■ 分 餐		
①パテン	主教 フランシス	長谷川清純
②パテン	主教 ヨハネ	吉 田 雅 人（前東北教区主教）
③パテン	主教 オネシモ	朴 東 信
		（大韓聖公会釜山教区主教）
	※本日の聖餐式は「一種陪餐」です。	
■ 信施奉献先	日本聖公会主教会	
■ 式典長	司祭 ヨハネ	八 木 正 言
■ 副式典長	司祭 パウロ	渡 部 拓

この式文は、『聖書 聖書協会共同訳』（日本聖書協会、2018年）、『日本聖公会祈
 禱書』（日本聖公会、1990年、2013年改訂第2版）、『日本聖公会聖歌集』（日本聖公
 会、2006年）から抜粋したものであり、日本聖公会首座主教 主教 ルカ 武藤謙
 一が、救主降生2023年 4月22日の「日本聖公会東北教区主教按手式・教区主教就
 任式」での使用を許可したものである。

